



山形県立新庄北高等学校創立120周年

文武両道・質実剛健の精神 ひとすじの道 きはむべし

県立新庄北高等学校は、明治33(1900)年に山形県山形中学校新庄分校として開校し、今年で創立120周年を迎えました。これまでの卒業生は2万8000名を超え、新庄・最上地域の基幹校として国内外で活躍する多くの人材を輩出してきました。「文武両道」「質実剛健」を校是に掲げ、個性と人間性を大切にする教育の成果が今なお継続し、学問や部活動に多くの実りをもたらしています。

校歌

山本 林 作詞
清水 節 作曲

一、あした浅黄の空とほく
銀雪(ぎんせき)降りし月の峰
往(むか)し米の雲の静かなれば
われら清き希望(きぼう)
われら高き理想(りやうきやう)
動(うご)かぬ山のすがたかな
ゆふべ(ゆふべ)道(みち)遠(とほ)く
流(なが)れてつきぬ最上川
めぐる淵(ふみ)の数はあれど
われら強(つよ)き腕(うで)
われら健(けん)き意志(いし)
ひとすじの道(みち)きはむべし
花(はな)散(ち)りかかる城(しろ)址(あぢ)に
かたみにかはす言(ことば)の葉(は)
若(わか)き命(いのち)の燃(も)えてやまぬ
われら堅(かた)き誓(ちか)ひ
われら熱(あつ)き血潮(ちまう)
永(とこ)なるものぞ仰(あや)ぐべき



なつかしの旧校舎

創立120周年記念式典・記念講演会

- 期日/ 令和2年10月17日(出) **本日**
- 会場/ 新庄市民文化会館大ホール
- 日程/ 記念演奏 12:30~12:40 (吹奏楽部)
記念式典 12:50~13:45
記念講演 14:00~15:35
講師 あべ美佳先生(作家・脚本家)
演題 「人生は思うようにしかならない」

式典および講演会は新型コロナウイルス感染拡大に配慮し生徒・教員など関係者のみで実施いたします。ご来場いただいたてご入場できませんのでご了承願います。



女子800mで東北新人大会を制す



白熱！伝統の大運動会



全国優勝を果たしたクロスカントリースキー部

本校の生徒として、この記念すべき節目に関わることができ、光栄に思います。今私たちが地域のかかわりの中で、いくつものことを支えられながら、学ぶことができていくのかを実感しております。次は私たちが、地域を支える存在になれるよう、努力が続けていきます。私たち生徒一人一人が、歴代の先輩方や地域の皆様のご支援・協力からたどってきた、校章である雪華のように強く清らかな姿で、新たな歴史を刻んでいくことをここに誓います。



雪華のように強く清らかに
新庄北高等学校
生徒会長 安食 希美



ごあいさつ
新庄北高等学校
校長 柿崎 則夫

旧制中学校として本県では4番目に開校した新庄北高等学校は120周年という栄えある年を迎え、創業の地である新庄市民文化会館で記念の式典を挙げてまいります。コロナ禍での制約はあるものの、大変喜ばしく思います。同窓生の皆さんはじめ関係者の方々のご支援に感謝申し上げますとともに、祝福をいただければ幸いです。本校は、地域との協働を掲げた文科省の研究指定を受け、探究コースの設置とあわせ、Society5.0といわれる時代を、主体的に生きる力を育むべく、社会に通用する探究学習の充実と生徒の学力向上に努めています。120年という伝統を誇りに、生徒の一層の躍進を期待するとともに、有為な人材の育成に努めてまいりますので、皆様のご支援を心からお願いいたします。



ごあいさつ
創立120周年記念事業
実行委員会委員長
新庄北高等学校同窓会長
大場 隆司

120年の主なあゆみ

- 明治33年 3月 新庄に山形県山形中学校新庄分校として設置。4月13日新庄小学校内旧最上中学校校舎にて開校式。
- 34年 7月 校舎新築移転。10月1日寄宿舎開く。
- 35年 4月 1日に独立し、県立新庄中学校と改称。7月校舎落成式。
- 43年 5月 創立10周年記念式典挙行。
- 大正4年 新帽章となる校章制定(図案清水清)。
- 9年 記念館(柔道場)落成。校歌制定(作詞山本林、作曲菅原龍吉)。
- 10年 6月 10日校舎全焼。
- 11年 9月 10日新校舎落成し移転する。
- 13年 同窓会発足。
- 昭和4年 9月 13日講堂竣工落成式。
- 11年 7月 18日剣道場落成式挙行。
- 15年 4月 学級増(1学年150人)。10日校舎増築落成。
- 20年 1月 校舎一部海軍航空技術工場となる。
- 21年 9月 復活運動会実施。最上農林学校設立。
- 23年 4月 新学制による県立新庄第一高等学校と改称し、併設中学校を置く。新たに夜間部を併置。雪華の校章となる。
- 24年 4月 新たに工業科を設置し修業年限3年となる。最上農林高等学校を合併して農林科設置。
- 25年 4月 高等学校統合により、新庄第二高等学校と合併。県立新庄高等学校となる。生徒定員通常課程1500人。定時制昼間400人。夜間200人。普通、商業、工業、農業、家庭の5課程。
- 27年 4月 高等学校改組により、県立新庄北高等学校となり、新庄南高等学校が独立。定員は通常課程が900人、定時制昼間課程が400人、夜間課程200人。
- 29年 6月 新校歌制定。作詞は校長の山本林。作曲は清水清。
- 30年 8月 野球部東北代表として甲子園大会に初出場。
- 34年 5月 創立60周年記念式典。8月野球部西奥羽代表として再度甲子園へ。
- 37年 4月 工業科分離独立し、県立新庄工業高等学校となる。
- 40年 4月 普通科50人の定員増、募集定員300人となる。
- 41年 4月 農業科分離独立し、県立新庄農業高等学校となる。
- 45年 9月 20日、創立70周年記念式典を挙行。
- 49年 7月 校舎の一部市内飛田に移転。翌日より新校舎で授業開始。
- 50年 2月 スキー部全国大会リレー優勝。3月校舎全面移転。4月体育館竣工。7月同窓会館竣工。9月新校舎竣工式挙行。
- 51年 4月 柔剣道場、弓道場、同窓会館渡り廊下竣工。
- 54年 4月 新庄農業高等学校向町分校が本校配属替えとなる。定員270人。
- 55年 8月 バスケ部県優勝。インターハイ出場。創立80周年記念式典挙行。
- 57年 体育館室竣工。定時制募集休止。復活運動会始まる。
- 58年 吹奏楽部東北大会2年連続出場。高文連全国大会出場。NHK教育テレビ「よみがえった定時制」放映。
- 59年 旧校舎跡地記念碑建立除幕式行。第1回平塚英吉賞受賞。
- 63年 校舎増築工事竣工。運動部部室完成。食堂の開設。女子夏期制服の制定。旧図書室改造竣工。
- 平成元年 野球春季県大会準優勝。東北大会出場。
- 2年 東通門と橋完成。創立90周年記念式典。校門の完成。演劇部県大会で最優秀賞。東北大会出場し準優勝。
- 4年 県高スキー男子リレー優勝。へにはな国体男子リレー準優勝。文化祭を北極祭とする。運動会と文化祭が隔年開催となる。
- 7年 9月 向町分校、最上校に校名変更。
- 9年 4月 100周年記念館竣工。創立100周年記念式典挙行。
- 12年 2月 スキー部インターハイ女子リレー5位入賞。
- 14年 4月 新入生より定員200人となる。
- 19年 10月 吹奏楽部マーチングバンド東北大会銀賞。
- 20年 11月 定時制設置60周年記念同窓会総会開催。
- 22年 2月 スキー部インターハイ女子リレー4位入賞。
- 9月 創立110周年記念式典挙行。
- 23年 2月 スキー部インターハイ女子リレー優勝。
- 30年 4月 新入生より一般コース160人、探究コース40人となる。
- 31年 4月 文科省「地域との協働による高校教育改革推進事業」指定校に。



課題研究発表会で県優秀賞に



心を一つに合唱コンクール



文化部の活動も盛ん



地域と共に「ジモト大学」

～県北の雄として、共に学ぼう！～

新庄北高等学校

〒996-0061 新庄市大字飛田字備前川61 Tel.0233-22-6022(事務室) Tel.0233-22-6023(全日制 職員室)

新庄北

検索